

農耕用大型特殊免許取得

大型トラクタで道路を走行するためには、「農耕用大型特殊免許証」が必要とのことで、今回、「ほたるの里」の3人のオペレータに「農耕用大型特殊免許取得講習会」を受講していただきました。綾部市全農京都府本部物流センターで2日間の講習と京都府運転免許試験場での試験日、2月20日の試験日に3人とも合格していただきました。

試されるということはいづれもです。ましてや、ほとんど合格する試験ほど、3人の中で一人だけ不合格になっては困ります。頼んだ側も、そのような思いをし、一人ずつ行ってもらった方が良かったのではと心配しておりましたが、3人とも、きついプレッシャーの中、合格していただき本当に心から喜んでおります。ありがとうございました。お疲れ様でした。御礼申し上げます。

「内部保留」拡大

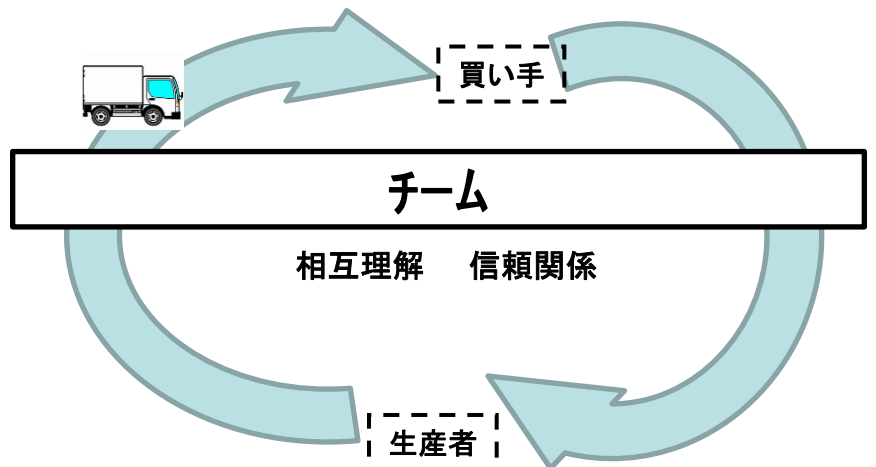
「内部保留」とは、企業の純利益から、税金、配当金などの社外流出を差し引いた残りです。ひらたく言えば「企業の儲け」のことです。一言で言うと「返済不要な軍資金」という意味合いを持っております。では、この内部保留を簡単に切り崩すことは出来るのでしょうか。答えは“NO”です。内部保留を切り崩す事は資産を減少(売却)させることを意味し、それはすなわち次期の企業活動の縮小を余儀なくされるということになります。又、「内部保留」は、企業間同士の「信頼」に欠かせない重要な源泉となります。

平成30年度における「京丹波ほたるの里」の決算は、2月18日に監査をお世話になり、帳簿、領収書、預金通帳の突合で適正に処理されているという結果をいただきました。今後、総会で了承をいただき、税務申告と言う運びになります。平成30年度もおかげ様で「内部保留」の蓄積が出来ました。「京丹波ほたるの里」では、平成19年会員様から多額に出資金を拠出していただき発足し、「美しいふるさとをみんなの力で守っていこう！」の精神を貫いていただき、そのボランティア精神のおかげをもちまして若干の「内部保留」も蓄積できました。将来展望を検討していく所存です。ありがとうございました。

「京都丹波イチ押しファームづくり(案)」に参加

将来にわたって、京都丹波産の豊かで良質な農産物が生産し続けられ、より良い付加価値で提供し続けられるよう、生産者と買い手をチームとして相互理解、信頼関係を深め、京都丹波産の農産物の新しい価値を見つける取り組みをし、「京都丹波イチ押しファーム」としての価値をPR。

信頼関係の取り組みを実施するために物流の条件改良として共同配送の試験を取組む。



京都府南丹広域振興局農林商工部企画調整室振興担当主催

美しいふるさとをみんなの力で守っていこう！